FUJITEC

2021年3月期 第3四半期連結業績概要

2021年2月9日

フジテック株式会社

（東証一部：6406）

エグゼクティブ・サマリー

FUJITEC

【2021年3月期第3四半期の概況】

- 第3四半期は、前期比売上高7.8%減、営業利益2.5%増の減収増益。業績は回復傾向
- 新設事業は中国が回復基調。アフターサービス事業は保守が堅調。修理・モダニゼーション工事は各地域で明暗
- セグメント別では、日本と東アジアの業績は1Qを底に着実に回復、南アジア・北米・欧州は2Qに落ち込むも3Qに復調
- 新生活様式への対応としてエレベータの新標準機「エクシオール」の「非接触ボタン（名称：エアータップ）」を標準装備に仕様変更。既設向けも国内外で設置が進む
- グループ全体で感染症拡大防止として、お客さまや関係先、従業員の“安全・安心”の確保を最優先とした安全対策と直行直帰・在宅勤務などの3密回避の行動を継続

【2021年3月期の業績予想】

- 期初予想から売上高・利益とも上方修正。日本・アジア地域の回復が牽引
- 配当予想は年間50円から業績修正に伴い10円増額し、年間60円に増配

【今後の戦略的方向性の取り組み】

- 昨年12月、中長期の事業戦略ならびに資本政策を示した“今後の戦略的方向性”を公表
- 自己株式の半数消却、指名・報酬諮問委員会の設置、株主優待制度を導入を実行

Copyright 2021 Fujitec All Right reserved

2021年3月期 第3四半期業績ハイライト

FUJITEC

- **第3四半期連結決算は、前期比 減収営業増益。営業利益は前期比2.5%増の100億円**
- **当期第2四半期から売上高・利益ともに改善。COVID-19による影響鈍化**

(単位：百万円)

	2020/3 3Q	2021/3 3Q	前期比(%)
売上高	134,463	123,987	△7.8
国　内	53,350	50,185	△5.9
海　外	81,112	73,801	△9.0
営業利益	9,792	10,037	2.5
経常利益	11,032	10,920	△1.0
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,297	7,098	△2.7
1株当たり四半期純利益	90.16円	87.55円	―
対米ドル円為替レート	109.55円	107.66円	

Copyright 2021 Fujitec All Right reserved

COVID-19の当社事業への影響と変化

FUJITEC

- 安全対策の徹底
  - ✓ お客さまや関係先、従業員の“安全・安心”の確保を最優先に感染症拡大の防止
  - ✓ 各国の感染状況や政府の要請に従い、在宅勤務・直行直帰等の3密回避を継続

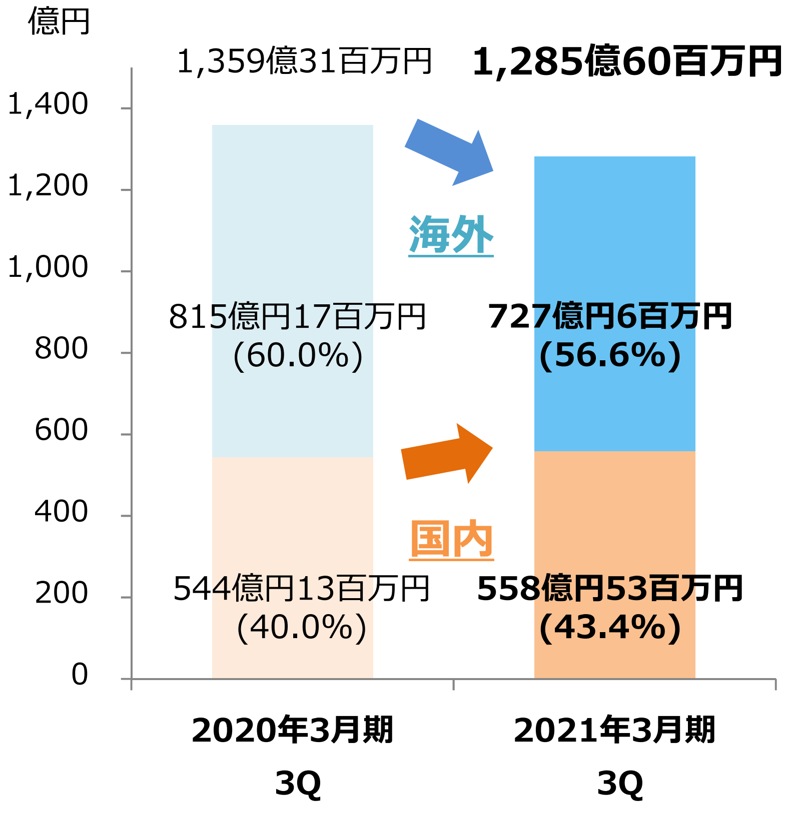
- 感染拡大の影響が続くものの、総じて持ち直しの動き
  - ✓ 受注活動：　概ね各国で官庁系や大型案件は活動継続も、その他はまばらな状況
  - ✓ 工事状況：　新設・モダニゼーションともに工事現場は延期・閉鎖も縮小し、概ね継続
  - ✓ 保守対応：　社会基盤の維持として、継続的に提供

Copyright 2021 Fujitec All Right reserved

2021年3月期第3四半期 受注高

FUJITEC

- **当期の受注高は、前期比5.4%減。国内受注はアフタマーケット事業が堅調で増加**



グラフ内の数値：受注金額(構成比率)

【国内受注】558億53百万円(前期比2.6%増)

➢ 新設事業
- ホテル・店舗で需要停滞で若干減少

➢ アフターマーケット事業
- モダニゼーション工事で官公庁向け入札が好調で増加
- 保守は、提案力強化で契約率が向上し堅調に推移

【海外受注】727億6百万円(前期比10.8%減)

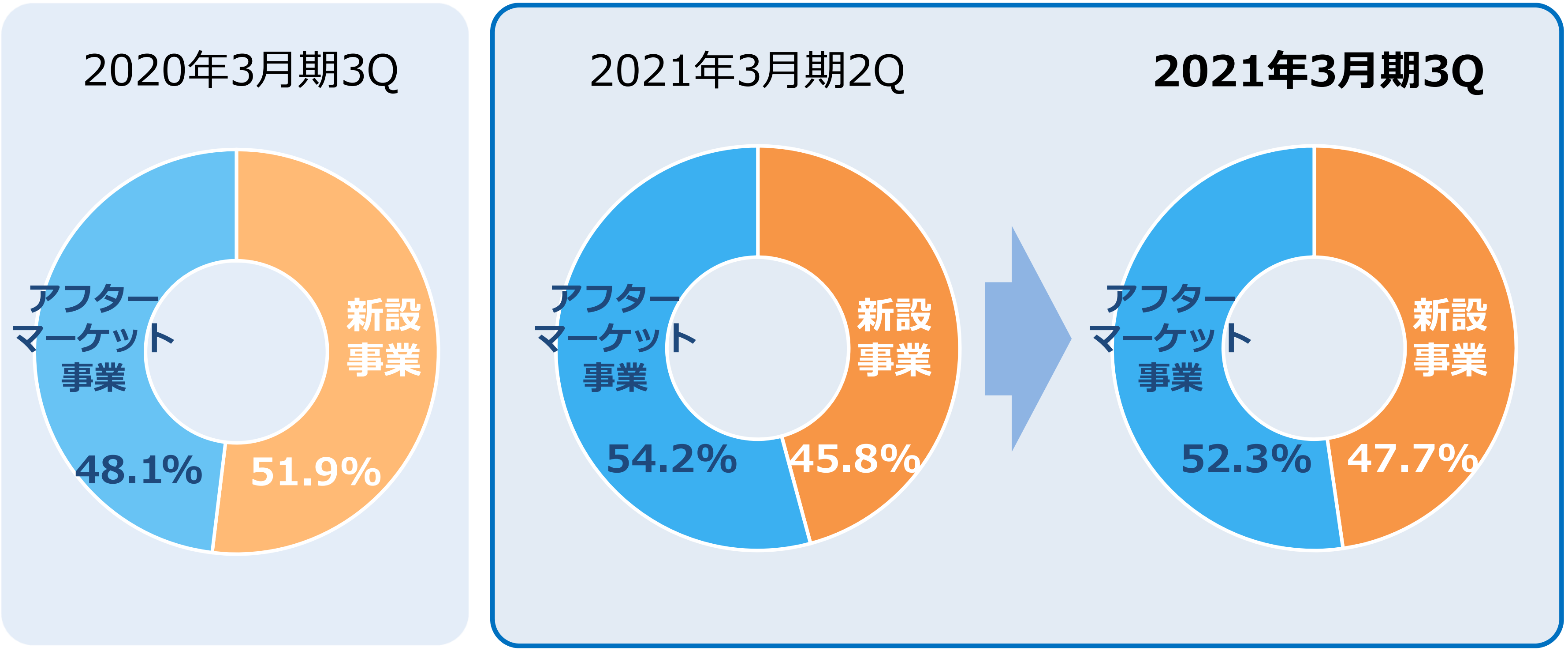
➢ 新設事業
- 東アジアは、中国で減少
- 南アジアは、インドの減少が続くが、シンガポール・インドネシア・マレーシアの大型案件で受注増加
- 北米・欧州は、英国の企業買収で増加。北米で厳しい状況が続く

➢ アフターマーケット事業
- 東アジアは、香港・韓国でモダニゼーション工事が増加
- 南アジアは、シンガポールで伸長
- 北米・欧州は、米国のモダニゼーションが低調

Copyright 2021 Fujitec All Right reserved

事業別売上高構成比率の変化

- **前年と比較すると新設事業が減少した結果、アフターマーケット事業が拡大。一方で、2Qとの比較では新設事業の回復が進む。**



Copyright 2021 Fujitec All Right reserved

2021年3月期第3四半期セグメント別業績

- 減収幅が縮小し、営業損益は大幅に改善
- COVID-19の影響が長引く北米･欧州を除く、すべてのセグメントで増益に転じる

（単位：百万円）

	売上高			営業損益		
	2020/3 3Q	2021/3 3Q	増減(%)	2020/3 3Q	2021/3 3Q	増減額
日　　　本	55,191	52,139	△5.5	3,223	3,240	16
東 ア ジ ア	56,035	50,846	△9.3	4,112	4,690	578
南 ア ジ ア	12,032	10,269	△14.7	1,752	1,787	34
北米・欧州	19,106	17,468	△8.6	766	347	△419
小　　　計	142,366	130,723	△8.2	9,855	10,065	210
調　整　額	△7,903	△6,735	ー	△62	△28	33
合　　　計	134,463	123,987	△7.8	9,792	10,037	244

Copyright 2021 Fujitec All Right reserved

セグメント別 COVID-19の3Q活動への影響

FUJITEC

	主な影響
日　本	●**売上**：工事延伸・工事中断が影響し減収 ●**利益**：新設事業で販売価格の改善、アフターサービス事業の保守が堅調で増益 ●**生産**：影響なし
東アジア	●**売上**：香港で保守・修理工事が貢献するも、中国の新設工事と輸出の減少要因で減収 ●**利益**：中国・香港の採算改善が増益に寄与 ●**生産**：中国で部品の原価低減で競争力が強化
南アジア	●**売上**：シンガポールで増加。インドネシア、マレーシア、インドで新規工事の減少が大きく影響 ●**利益**：シンガポールのアフターサービス事業伸長が増益に貢献 ●**生産**：インド第二工場の完成時期に軽微な影響の可能性
北米・欧州	●**売上**：英国で新設工事、新規子会社の加入で増加。一方、米国で新設工事の減少が影響 ●**利益**：新規工事の採算低下により減少

Copyright 2021 Fujitec All Right reserved

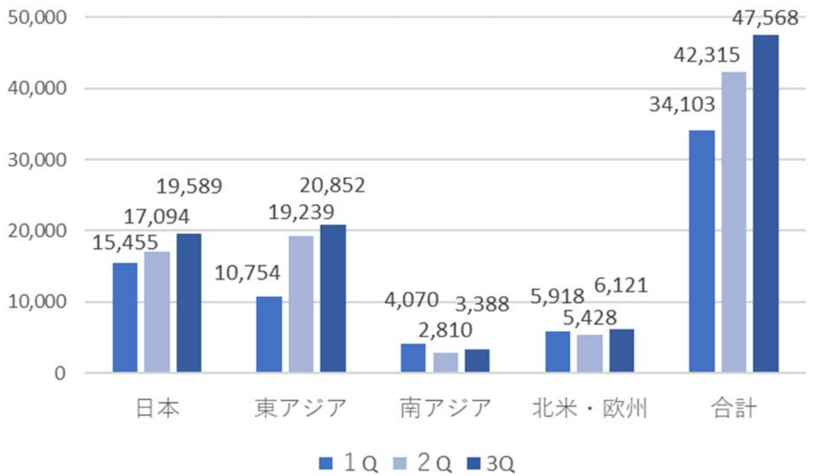
セグメント別業績比較

FUJITEC

- **売上高と営業利益を各四半期の業績で比較**

売上高

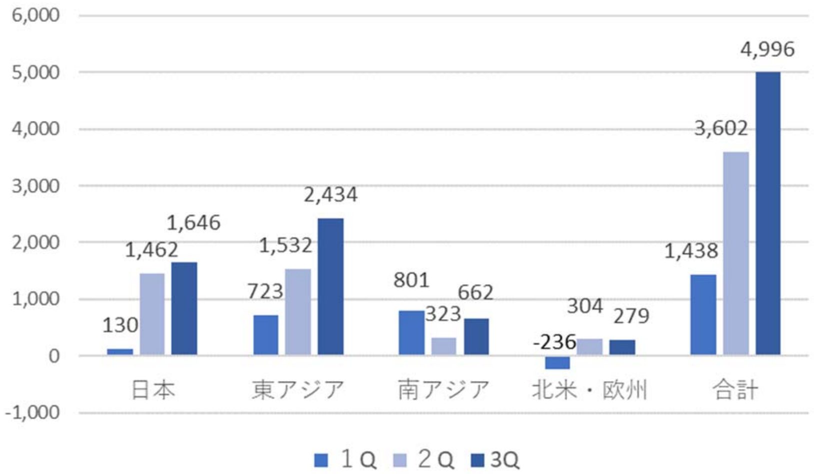
（単位：百万円）



- 日本と東アジアは、1Qを底に着実に回復傾向
- 南アジアと北米・欧州は、2Qを底に復調

営業損益

（単位：百万円）



- 日本と東アジアは、売上の回復傾向と収益性の改善で、1Qを底に着実に回復
- 南アジアは、2Qを底に回復
- 北米・欧州は、収益改善弱く伸び悩む

Copyright 2021 Fujitec All Right reserved

2021年3月期連結業績の従来予想を、上方修正

FUJITEC

- **連結業績は、売上高・利益ともに上方修正。前期比 減収経常増益を想定**

（金額単位：百万円未満切り捨て）

	2021/3		増減率(%)	2020/3（参考）
	前回発表予想	今回修正予想		
売上高	165,000	169,000	2.4	181,232
営業利益	10,700	13,300	24.3	13,375
経常利益	11,500	14,700	27.8	14,682
親会社株主に帰属する当期純利益	7,500	9,300	24.0	9,916
1株当たり当期純利益	92.62円	114.69円	－	122.46円

Copyright 2021 Fujitec All Right reserved

上方修正要因は、日本・アジア地域の好調

FUJITEC

- 売上高は、日本のモダニゼーション工事、中国の新設工事が増加の見通し
- 営業損益は、中国の採算性向上、香港・シンガポールでアフターサービス事業が堅調な推移を見込む

（金額単位：百万円未満切り捨て）

	売上高			営業損益		
	前回発表予想	今回修正予想	増減率（%）	前回発表予想	今回修正予想	増減額
日本	70,000	71,000	1.4	5,000	5,200	200
東アジア	64,000	70,000	9.4	3,600	5,400	1,800
南アジア	16,000	14,000	△12.5	1,700	2,300	600
北米・欧州	25,000	23,500	△6.0	600	600	ー
小計	175,000	178,500	2.0	10,900	13,500	2,600
調整額	△10,000	△9,500	ー	△200	△200	ー
合計	165,000	169,000	2.4	10,700	13,300	2,600

Copyright 2021 Fujitec All Right reserved

配当金は、期末10円増額の年間60円に増配

FUJITEC

- 当期期末配当は、今回の連結業績予想を踏まえ、1 株当たり 10 円増額し、年間配当60円に増配を予定
- 株主還元強化として、配当性向50%以上の水準を目指す。当期期末の配当性向予想は、52.3%

（単位：円）

		2020/3 実績	2021/3		増減額
			前回発表	今回発表	
配当金		50	50	60(予想)	10
	中　間	20	20	20	―
	期　末	30	30	40(予想)	10

Copyright 2021 Fujitec All Right reserved

事業戦略・資本政策、ガバナンスの強化

FUJITEC

中長期的な視点に基づく、"今後の戦略的方向性"を昨年12月公表

進捗状況

- 自己株式の消却
  - 消却日：2020年12月11日
  - 消却株数：4,767,000株（発行済株式数対する割合5.25% ）
  - 保有自己株式の使途：従業員持株信託、役員報酬制度、M&A等に活用
- 指名・報酬諮問委員会の設置
  - 設置日：2021年2月9日
  - 構成：委員長（社外取締役）、委員（社外2名、社内1名）
  - 内容・プロセス：役員改選任・役員報酬等を審議し、取締役会に答申
- 株主優待制度の導入
  - 導入日： 2021年2月9日
  - 目的：株主還元、株主情報のDX化
  - 内容：対象株主に対し優待ポイントを進呈（商品交換可）

Copyright 2021 Fujitec All Right reserved

非接触ボタンを標準装備に変更

FUJITEC

- **エレベータを触れずに操作できる非接触ボタン「エアータップ」（一体型）を、新標準機「エクシオール」の標準装備仕様に適用開始**

● 標準装備化のポイント

- COVID-19拡大により公衆衛生に対する意識の高まりから、非接触ボタンはエレベータに求められる機能として急速にニーズが拡大したため

● エアータップ（AirTap）

AirTap

空中をタップするかのように、快適かつ素早く、軽やかに、非接触で操作する様子を表現

● エアータップ（一体型）

プッシュ式ボタンと赤外線センサーを一体化

COVID-19拡大の抑止に向けて、社会の“安全・安心”・快適を確実に提供

Copyright 2021 Fujitec All Right reserved

環境負荷低減の取り組み

FUJITEC

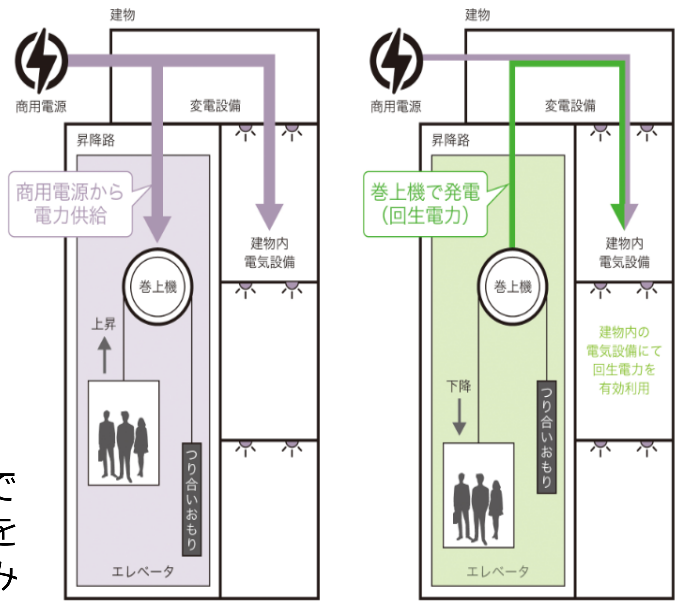
- **エレベータのリニューアルで、消費電力45%削減**

ギア付きモータから、ギアレスモータの置き換えで効率が改善し、最新のインバータ制御により必要なトルクを最適に制御することで消費電力を削減

- **回生エネルギーの活用**

新標準機「エクシオール」は、運転で発生する回生電力をエレベータ以外の設備に有効利用することで、建物全体の省エネに貢献
（従来、回生電力は熱として消費）

エレベータで
回生エネルギーを
活用した仕組み



満員／上昇運転時等の電力フロー
（力行運転）

満員／下降運転時等の電力フロー
（回生運転）

環境にやさしい技術開発で脱炭素化に向けた商品を提供

Copyright 2021 Fujitec All Right reserved

メンテナンス向け地図システムが「IT賞」受賞

FUJITEC

- 「Googleマップ統合地図システムによる情報可視化・既存システム」で、2020年「IT賞（顧客・事業機能領域）」を受賞。昇降機業界では初

● 本システムの特徴
- 納入物件情報*をリアルタイムにスマートフォンなどの端末にいつでも・どこででも閲覧できる地図システム。保守情報のDX化

*保守・営業情報、昇降機の仕様、保守履歴、図面、技術資料、現場写真等

現場情報を各種システムが連携して地図上に提示

● 本システムの効果
- フィールド業務の効率化で年間数千万に上るコスト削減とサービス品質向上を実現
- 広域災害時の初期対応で自動適正配置による迅速な支援活動
- 海外法人への展開を予定

公益社団法人企業情報化協会（IT協会）IT賞
“ITを高度に活用したビジネス革新”に顕著な努力を払い成果を挙げた企業・団体に対して授与

IT賞
Japan Institute of Information Technology
Information Technology Award

Copyright 2021 Fujitec All Right reserved

FUJITEC

参 考 資 料

クリエイティブ スタジオ 東京（東京都港区）

Copyright 2021 Fujitec All Right reserved

参考資料：第3四半期連結バランスシート

FUJITEC

（単位：百万円）

	2020/3末	2020/12末	増減額	備考
流動資産	140,884	144,034	+3,150	
現金及び預金	57,024	61,612	+4,588	日本、東アジアでの増加
受取手形及び売掛金	61,626	58,500	△3,126	日本での減少
棚卸資産	19,321	20,980	+1,659	
その他	5,053	5,472	+418	
貸倒引当金	△2,142	△2,530	△388	
固定資産	52,697	54,830	+2,132	
有形固定資産	34,188	33,886	△301	設備投資+1,993 減価償却△2,245 為替ほか△49
無形固定資産	3,640	4,735	+1,095	
投資その他の資産	14,868	16,207	+1,338	
総資産	193,581	198,864	+5,283	
流動負債	70,083	71,455	+1,371	前受金+2,143 工事損失引当金+1,751 短期借入金△2,071
固定負債	4,783	5,768	+985	
純資産	118,714	121,640	+2,925	自己株式+5,119 その他有価証券評価差額金+1,091 利益剰余金△2,026 為替換算調整勘定△1,851
自己資本比率	55.2%	55.0%	△0.2%	
ＢＰＳ	1,318.59円	1,347.66円	+29.07円	

Copyright 2021 Fujitec All Right reserved

参考資料：主な受注・納入実績

FUJITEC

新設工事		モダニゼーション工事	
完成	進行中	受注	進行中

HOTEL THE MITSUI KYOTO
（日本･京都）
エレベータ計9台

富邦信義A25總部
（台湾･台北）
エレベータ･エスカレータ計33台

HSBC本社ビル
（英国･ロンドン）
エレベータ計15台

One Raffles Place
（シンガポール）
エレベータ計19台

Copyright 2021 Fujitec All Right reserved

参考資料：会社概要

FUJITEC

社　名	フジテック株式会社
設　立	1948年2月 （1974年2月東証第一部上場）
本　社	ビッグウィング　滋賀県彦根市宮田町591番地1
事業内容	エレベータ、エスカレータの研究開発・製造・販売 据付・保守
資 本 金	125億33百万円（発行済株式数85,300,000株）
役　員	代表取締役社長　内山高一 取締役：9名（うち社外5名） 監査役：4名（うち社外3名）
従業員数	連結 10,383名（単独 3,107名）
関係会社	34社（内、連結子会社19社） （米州、東アジア、南アジア、欧州・中近東）

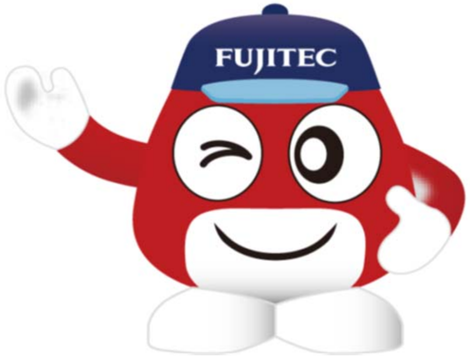
Copyright 2021 Fujitec All Right reserved

本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。
既に知られた、もしくはいまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。
本資料における将来の展望に関する表明は、2021年2月9日現在において利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2021年2月9日

フジテック株式会社

2021年3月期 第3四半期連結業績概要



Copyright 2021 Fujitec All Right reserved